

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進 度
集団を育て動かす実習	<p>&lt;目的&gt; 学校・産業保健活動の場を理解し、集団における健康予防・指導・教育の具体的支援を展開する能力を養う。</p> <p>&lt;目標&gt; 【学校保健】 学校保健活動の仕組みと具体的活動を理解する。</p> <p>I. 健康教育の推進と、個々の児童生徒が自らの健康度を評価活用できる健康管理の必要性がわかる。</p> <p>II. 児童を取り巻く環境の変化の中で期待される保健室運営の実際を知る。</p> <p>III. 事故防止のための安全管理への取り組みについて知る。</p> <p>IV. 学校保健における学校と家庭、地域社会との連携の重要性について考えられる。</p> <p>【産業保健】 産業保健活動の目的と仕組みを理解できる。</p> <p>I. 労働衛生を効果的に推進するために必要な管理体制を知る。</p> <p>II. 産業看護職に求められる個人・集団・組織への健康支援活動を考えられる。</p>	<p>【学校保健実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科体育の保健領域の学習、関連教科における保健に関する学習等の意義と実際を知る。</li> <li>2. 学校行事、委員会、クラブ活動等における保健指導の実際を知る。</li> <li>3. 健康相談、健康診断、疾病予防などの活動の実際を見学し、学校保健管理における対人管理の実際と必要性を知る。</li> <li>4. 学校における保健室の機能を理解し保健室経営の実際を一部体験する。</li> <li>5. 学校環境衛生検査など定期的、日常的な衛生的管理の実際を同行し見学する。</li> <li>6. 事故災害時の救急体制や校舎内外の施設・設備の安全点検、安全措置の実際を知る。</li> <li>7. 児童生徒を支援するために教職員間、家庭、地域社会との連携の実際について知る。</li> </ol> <p>【産業保健実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 労働の場と労働衛生の現状を理解する。</li> <li>2. 労働の場における労働衛生体制を理解する。</li> <li>3. 労働の場における健康課題と対応策を理解する。</li> <li>4. 産業保健活動を円滑に行う為に求められる看護職（衛生管理者）の役割を考える。</li> <li>5. 産業保健と地域保健の連携の重要性を理解する。</li> </ol>	1 45	<p>【臨地】 《学校保健実習》 場所：郡山市内小学校 約13箇所</p> <p>期間：4日間</p> <p>形態：1校あたり学生3名程度</p> <p>《産業保健実習》 場所：事業所 4箇所</p> <p>期間：0.5日間</p> <p>形態：1G 10名程度 ・事業所見学</p>	3年次 後期